An illustration of two shirtless men in a romantic embrace. The man on the left is shown from the back, with his arms wrapped around the man on the right. The man on the right is shown in profile, leaning towards the first man and kissing him on the cheek. His hand is resting on the first man's head. The style is a soft, painterly illustration with visible shading and outlines.

リヴアエ
四十八手

R-18

An illustration of a man and a woman in a close embrace. The man is on the left, shirtless, with his arms around the woman. The woman is on the right, with her head tilted back and eyes closed, resting against the man's chest. The style is soft and painterly with light colors.

リヴァエレ 四十八手

四十八手とは、性行為における
体位の種類を表したものである。

江戸四十八手とも。

この言葉は日本の江戸時代において
名づけられたとみられる。

体位の数を示したのではなく、
相撲の四十八手を真似て
名付けられたものである。

引用元：Wikipedia



立ち鼎（たちかなえ）

攻めが受けの片足を持ち上げて挿入する。

千鳥の曲(ちどりのきょく)

仰向けになった攻めの横に受けが座り、フェラチオをしながら同時に手で睾丸や乳首を愛撫する。まるで琴を弾いているように見えることからこの名が付いたと言われている。



【立ち鼎】

エレン『リヴァイさんと俺の身長差がちょうどいいのかわりやすいです。壁を背にすると安定感があっという間はいいです。キスもしやすい。途中からリヴァイさんが激し過ぎてキスどころじゃなくなりますけれど。』

【千鳥の曲】

エレン『リヴァイさんのちんこがでか過ぎて口に入りません(苦笑)。』

【立ち松葉】

エレン『しんどいだけです。』

リヴァイ『セックスに集中できねえな。』

立ち松葉(たちまつば)

かなりアクロバティックな技。受けの腰を高く上げ、攻めがその脚を支える。二人の脚を交差して挿入する。



深山(みやま)

正常位の一つ。
攻めが受けの腰とお尻を浮かせつつ深く挿入する。



立ち花菱(たちはなびし)

受けの腰を浮かせながら行うフェラチオ。

鷓越の逆落とし

(ひよどりごえのさかおとし)



アクロバティックな技の一つ。

受けが床につき、

攻めが受けの脚を上げつつ愛撫する。

【深山】

エレン『深く繋がれるので好きです。中イキしやすいし、イッてるのにやめてもらえないのがたまりません。』

リヴァイ『エレンが善がるいい体位だ。』

【立ち花菱】

エレン『見せつけるようにフェラされて恥ずかしいんですけど興奮しちゃいます。』

【鷓越の逆落とし】

エレン『バランスが悪くてつらいです。尻の穴を舐められても集中できない(苦笑)。』

【碁盤攻め】

リヴァイ『エレンが腰を少し落とせばやりやすい。逃げそうになるエレンの腰をしっかりとつかんで責めてやるとトコロテンでイキまくる。』

エレン『気持ちよくて腕に力が入らなくなると、ケツを突き出す恰好になってしまって、リヴァイさんのちんこがさらいいところ当たって大変です。』

碁盤攻め(ごばんぜめ)

受けがベッドや机などに手をつき、攻めが受けの腰をしっかりと支えながら挿入する。



首引き恋慕(くびひきれんぼ)

向かい合って挿入すし、お互いの首に縄をかける。
首の後ろで縄を引っ張り合うようにしながらピストン運動をする。



絞り芙蓉(しぼりふよう)

脚を閉じて座った攻めの上に、受けが脚を開いて座る。



鳴門(なると)

脚を閉じた攻めの上に受けが乗って挿入する。攻めが受けの膝を持って大きく脚を開かせ、腰を回転させながらペニスを奥深く

くへと挿入する。ペニスを中で大きく回転させる様が「鳴門海峡の渦潮」のようであることから、この名が付いたと言われている。



千鳥(ちどり)

脚を折り曲げて仰向けになった受けに、攻めがかぶさるようにして挿入する。



棕鳥(むくどり)

お互いに愛撫する「シックスナイン」のこと。



鶺鴒(ひよどりぐえ)

膝をついて四つん這いになった受けに攻めが挿入するバックのこと。



【千鳥】

エレン『リヴァイさんが動くときちんこがリヴァイさんの腹筋でこすれてヤバいです。』

【棕鳥】

エレン『前も後ろも弄られると直ぐイっちゃいます。』

【鶺鴒】

リヴァイ『楽な体位だがエレンのイキ顔を見れねえのはつまらねえな。』

抱き上げ

(だきあげ)

腕立て伏せのような姿勢の受けの脚を攻めが持ち上げ挿入する。



【抱き上げ】

エレン『支えが腕だけでバランスが悪いです。』

リヴァイ『激しくしたらエレンが崩れて顔をぶつけるから好かねえ体位だ。』

【雁が首】

エレン『リヴァイさんのでかいちんこをそもそもも啜えることができないんですけれど、一生懸命先っちょを舐めれば勃ってくるので嬉しいです。これをハメてもらえるんだと思うと疼いてきちゃいます。』

雁が首(かりがくび)

普通のフェラチオ。仰向けになった攻めのペニスを受けが愛撫する。



手懸け(てがけ)

椅子やベッドに腰かけた攻めの上に受けが座り挿入する。
前面に鏡を置くと視覚的な刺激を味わうことができる。



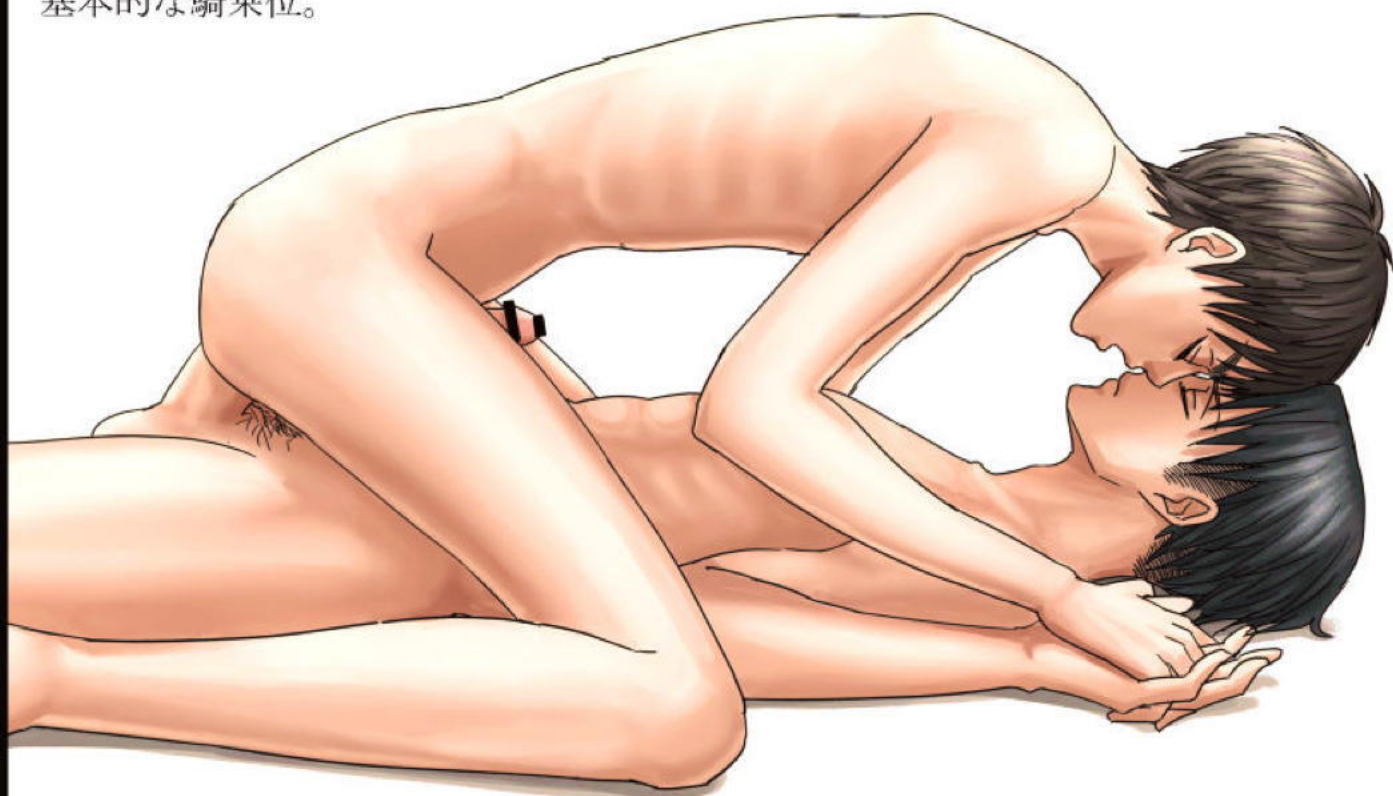
しがらみ

攻めが上、受けが下になって挿入する。
伸ばした脚を絡ませつつ、受けの閉じた太ももで
攻めのペニスを挟む。スローセックス向き。



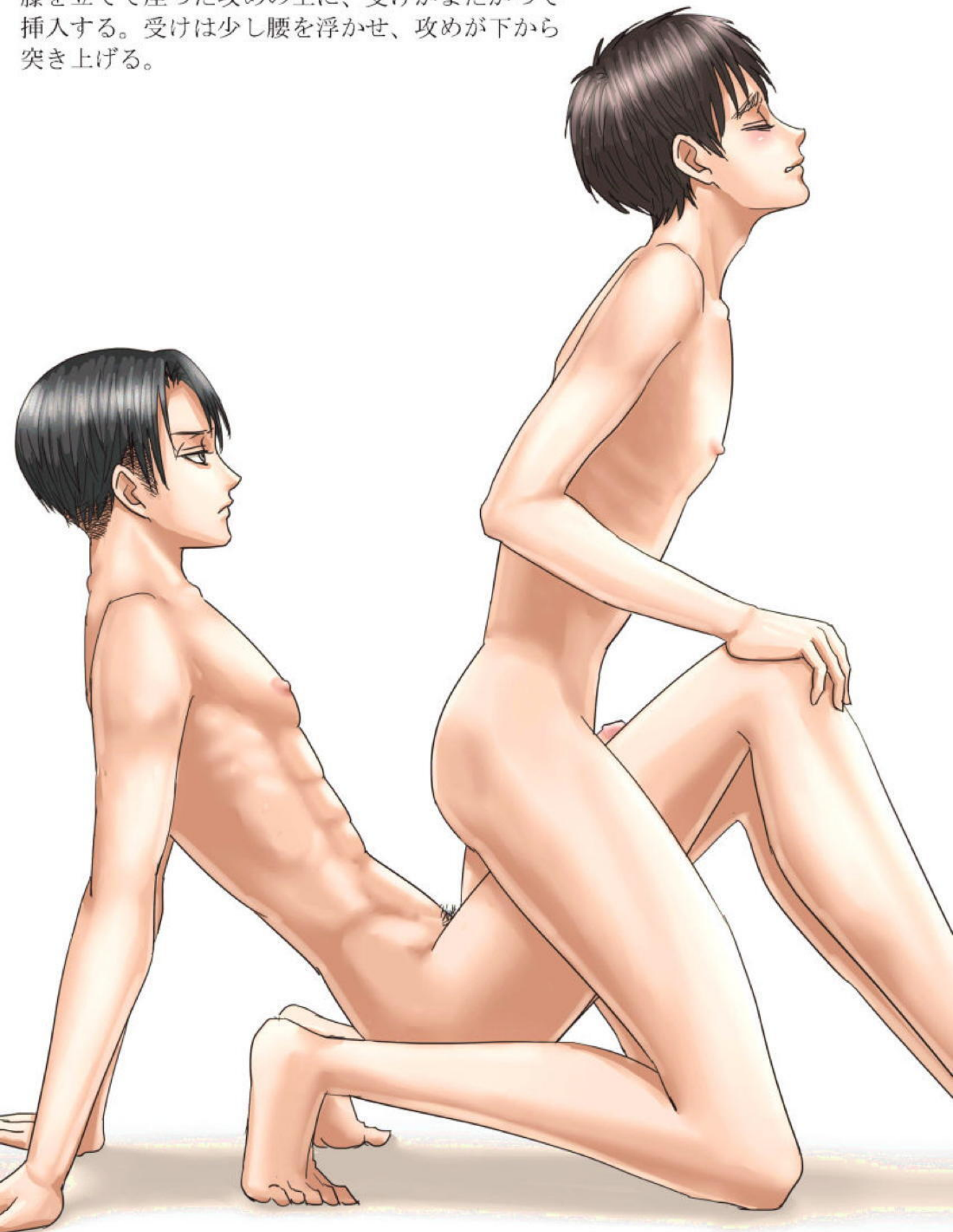
百閉(ひやくへい)

基本的な騎乗位。



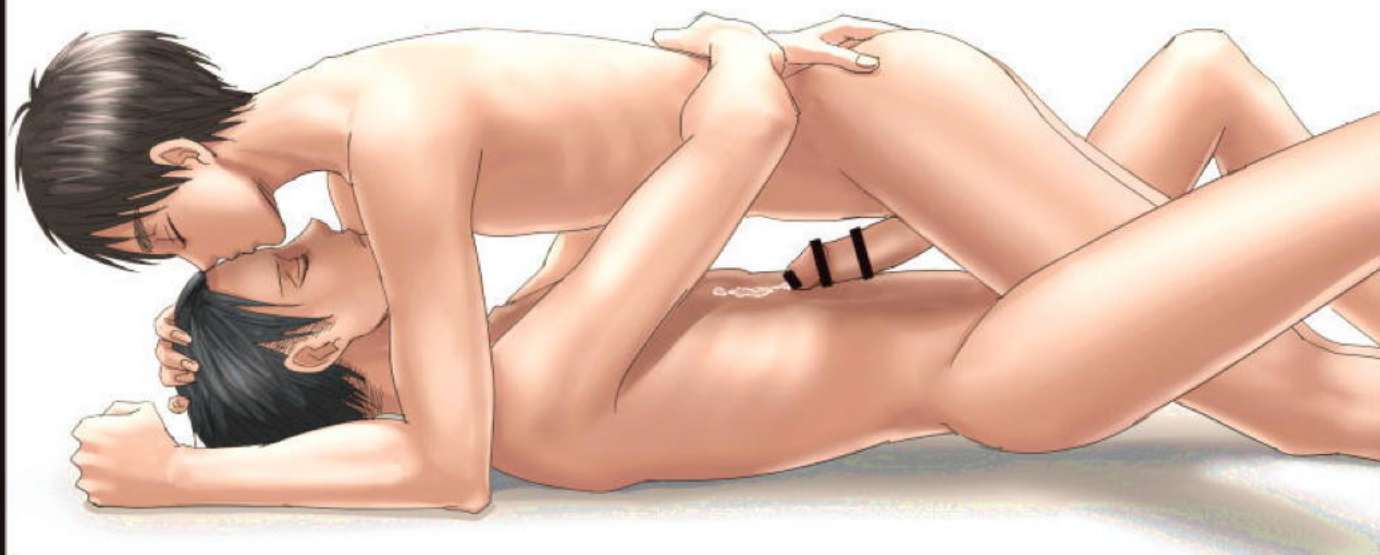
本駒駆け(ほんこまがけ)

膝を立てて座った攻めの上に、受けがまたがって挿入する。受けは少し腰を浮かせ、攻めが下から突き上げる。



茶臼のばし(ちやうすのばし)

受けが、寝ころんだ攻めの上に乗る、上半身を倒して体を密着させる。



理非知らず(りひしらず)

ソフトSM。受けの手足を縛り、攻めが受けの脚を抱えるように挿入する。



【本駒駆け】

エレン『下から激しく突き上げられるのが好きです。』

【茶臼のばし】

エレン『リヴァイさんのガチガチな腹筋にちんこを擦り付けると気持ちがいいし、すごく興奮します。』

【理非知らず】

リヴァイ『エレンはいじめられると、嫌だと言うくせにいくのが早くて可愛い反応をするから、つついじめたくなる。』

帆かけ茶臼(ほかけちやうす)

攻めが受けの片足を肩に乗せて挿入する。
高く上げた受けの脚が船の帆のように見えること
からこの名が付いた。



時雨茶臼（しぐれちやうす）

受けがしゃがみ込む形で挿入する騎乗位。



お互いにタイミングを合わせてピストン運動をすると、更に深い挿入感を得る。

【帆かけ茶臼】

エレン『片足を上げていて、ことでリヴァイさんの凶器がとて
も深く入ってきます。苦しいのに気持ちいいような感じです。
腕で支えられなくなると奥にハマって大変です（笑）。』

【時雨茶臼】

エレン『タイミングが合うと奥深くまで激しいピストンがき
て、射精が止まりません。』

【テコがかり】

リヴァイ『エレンの可愛い足にかぶりつきたくなる。』

テコがかり

お互いの性器を擦り付け合う。脚フェチにはたまらない体位。



炬燵がかり(こたつがかり)

こたつの中で行う挿入法。

攻めの膝の上に受けが乗るようにして挿入する。



撞木ぞり(しゅもくぞり)

二人とも仰向けになって挿入する。
スローセックス向き。



寄り添い(よりそい)

セックスの前や後にする愛撫のひとつ。

【炬燵がかり】
エレン『何でセーラー服なのかわかりませんが、いつもと違うプレイもたまにはいいですね。リヴァイさんのちんこが奥までできているのに、炬燵のせいで動きづらくてじれたいです。』
【撞木ぞり】
エレン『ちんこを入れたままじっとしないで欲しい…。』
【寄り添い】
リヴァイ『やった後に寄り添ってやるとエレンが可愛く甘えてくるのがたまんねえな。』

獅子舞(ししまい)

受けの両足を攻めの肩に乗せて挿入する。
受けは後ろに手をつき、攻めが受けの腰をしっかりと支える。





つり橋（つりばし）

正常位で挿入した後、
攻めが受けの腰を浮かせる。
受けは肘で自分の体を支える。

【獅子舞】

エレン『リヴァイさんに腰をしっかり支えられて
揺すられると、イけそうでイけない中途半端な刺
激にじれったくなります。』
リヴァイ『エレンの腰は細くてつかみやすい。だ
らだら我慢汁を漏らすエレンのちんこと可愛い顔
を見ることができていい体位だが、俺が動きづら
いし、エレンの脚が肩からずり落ちそうになるの
が難点だ。』



うしろやぐら

立ちバックのこと。

【つり橋】

エレン『つらい体位です。』
リヴァイ『俺がエレンの腰を引き寄せるように
ピストンするとまだましだが、やりづれえ。』
『うしろやぐら』
エレン『リヴァイさんにケツを突き出す姿勢で
腰を固定されて、思いっきり突かれるとヤバイ
です。』
リヴァイ『根元まで入るし、やりやすくもいい。
激しく動けば動くほどエレンは泣いて善がる。』

御所車(ごしよぐるま)

受けがペニスを起点に三六〇度回る。



【御所車】

エレン『リヴァアイさんのちんこがでかすぎてえぐられる感じです。苦しい…。』

【二つ巴】

エレン『俺の口にリヴァアイさんのちんこが収まる日はくるんですかね。』

【窓の月】

エレン『窓の外を眺めながらする風流な技らしいですが、動かれるとそんな余裕はないです。』

【岩清水】

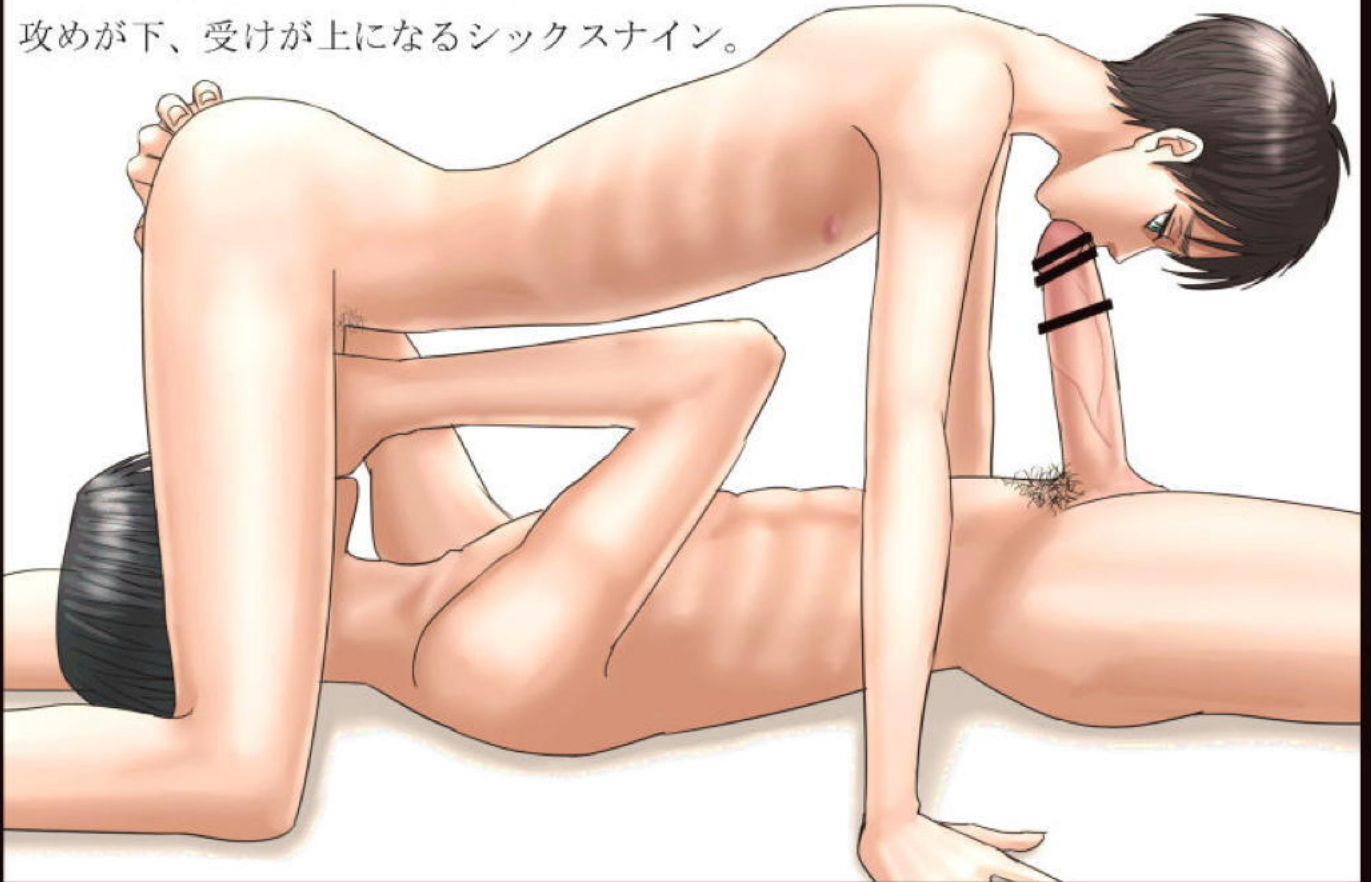
リヴァアイ『エレンが恥ずかしがりながら、たまらず腰を揺らしてしまうのが可愛いな。』

【流鏝馬】

リヴァアイ『エレンの動きがもどかしくてついつい下から突き上げちゃう。』

二つ巴(ふたつどもえ)

攻めが下、受けが上になるシックスナイン。



窓の月(まどのつき)

横向きに寝転んだ受けの後ろから攻めが挿入する。



岩清水(いわしみず)

受けが攻めの顔をまたぐ。



受けのペニスやアナルを愛撫する。

流鏝馬(やぶさめ)

受けが縄を手綱のように引っ張りながら腰を動かす。



こたつ隠れ(こたつがくれ)

お互いに向き合ってこたつの中で挿入する。



【こたつ隠れ】

リヴァイ『エレンの顔が見えないのが残念だが、これなら忍んでやれるな。』

エレン『のぼせそうです。』

【宝船】

エレン『この体位だと奥深くまでちんこがくるし、腰を動かすとリヴァイさんの脚にちんこが擦れて、前も後ろも気持ちよくて、夢中で動いちゃいます。』
リヴァイ『自慰をするかのように、俺の脚にちんこを擦り付けてくるのがかわいい。』

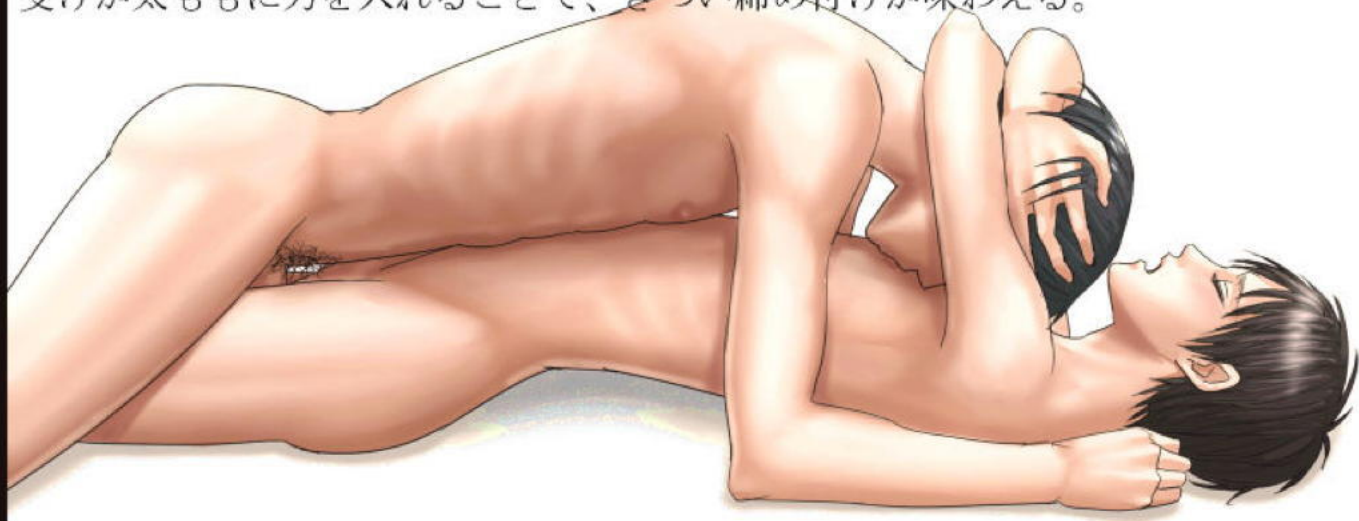
宝船(たからぶね)

受けが攻めの片足を持ち上げ、ペニスを挿入する。



締め小股(しめこまた)

脚をそろえて仰向けになった受けの太ももの隙間にペニスを差し込み挿入する。受けが太ももに力を入れることで、きつい締め付けが味わえる。



押し車(おしぐるま)

四つん這いになった受けの脚を攻めが持ち上げて、手押し車の体勢で挿入する。ペニスが抜けないようにそのまま前進する。



【締め小股】

エレン『普通のサイズのちんこだと挿入が難しいのにリヴァイさんのちんこは余裕で挿入できます。力を入れて締め付けると中でリヴァイさんのちんこの形をしっかりと感じちゃって、ピストンしなくてもそれだけで気持ちよくなっちゃいます。』
リヴァイ『欲を言えばもっと突っ込みてえ。』

【押し車】

エレン『こんな状態で腕に力が入るわけがなく、崩れますよ。』
リヴァイ『感じやすいエレンには難しい技だな。』

鶯の谷渡り

(うぐいすのたにわたり)

攻めが、仰向けになった受けの全身を唇や舌を使って愛撫する。



【鶯の谷渡り】

エレン『舐められたり吸われたり甘噛みされたりすると奥が疼いてきて、しつこくされるとじれったくなります。』

【抱き地蔵】

エレン『ベッドのspringsがきいてピストン運動がしやすいので、頑張ってリヴァイさんのちんこを抜くんですけれど、逆に感じてしまつて先にイッてしまうのが悔しいです。主導権を握れるようになりたい…。』

【浮き橋】

リヴァイ『角度がいいとエレンが善がる…悪くない。』



抱き地蔵(だきじぞう)

ソファやベッドに腰かけた攻めに受けがまたがって挿入する。

浮き橋（うきはし）
横向きに寝かせた受けの腰を攻めが抱え、
腰を浮かせるようにして挿入する。



達磨返し（だるまがえし）
受けの脚を縄で縛って挿入する。





乱れ牡丹(みだればたん)

座った攻めの上に受けが大きく脚を開いて
またがり挿入する。

【達磨返し】

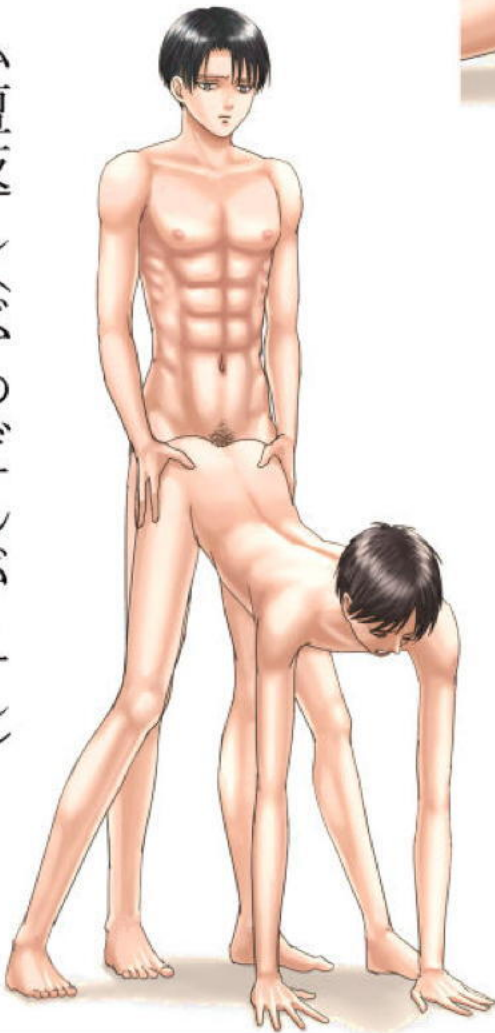
エレン『この体勢はいいところに当たるので、直ぐイッちゃいます。ゆるゆるとじらされるように動かれると、軽い中イキが続いて気持ちがいいです。縛られるのも興奮します。』
リヴァイ『前立腺をゴリゴリかりでひっかけたり奥を突いたりすると、ビクビク痙攣しながらドライでいくから、もっとじらしたくなる。じらしにじらすとエレンが善がりながらひんひん泣き出して可愛い。』

【乱れ牡丹】

リヴァイ『腰を激しく動かせないからスローセックス向きだな。エレンの背中にキスしたり、ちんこや乳首を弄ったりすると、中が締まって感じているのがわかっていい。』

【仏壇返し】

エレン『動きやすいみたいで、激しくピストンされると体を支えてられなくなります。だんだん生まれたての小鹿のようにプルプルしてきて、無理だって訴えてもリヴァイさんは体を支えてるって言うんです。鬼畜ですよ。』



仏壇返し(ぶつだんがえし)

前かがみになった受けに攻めが後ろから挿入する。

菊一文字(きくいちもんじ)

攻めが寝ころび、受けが脚を大きく広げて挿入する。



松葉崩し(まつばくずし)

受けの片足を攻めが持ち上げて挿入する。
中イキしやすい体位。



燕返し(つばめがえし)

攻めが受けの片足を後方に上げて挿入する。



